

第 3 7 回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会
第 2 回 総 会

会 議 資 料

	頁
○議案第 1 号：平成 3 0 年度事業報告について	1
○議案第 2 号：平成 3 0 年度収支決算について	3
○議案第 3 号：第 3 7 回全国都市緑化ひろしまフェア実施計画（案） について 実施計画（案）の概要	5
実施計画（案）	（別冊）
○議案第 4 号：令和元年度事業計画の専決処分の報告 及び承認について	1 2
○議案第 5 号：令和元年度予算の専決処分の報告 及び承認について	1 3

日時：令和元年 5 月 2 9 日（水） 1 4 時 0 0 分

場所：広島国際会議場 地下 2 階「ダリア」

平成 3 0 年度事業報告について

1 会議の開催

- 第 3 7 回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会設立会議及び第 1 回総会
 日 時 : 平成 3 1 年 1 月 3 0 日 (水) 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0
 場 所 : ホテルメルパルク広島 6 階平成 (広島市中区基町 6 - 3 6)

2 実施計画等の策定

以下について実施計画等の策定に着手

- 会場整備に係る基本設計
- 会場運営、交通輸送の計画
- 観客誘致、広報宣伝及び参加協賛の計画
- 公式行事を始めとした行催事の計画
- 展示、出展及びコンテストの計画
- 県民や団体等との協働推進の計画

3 協働団体・協賛等の募集

- 団体出展について、県内の関係団体へ勧奨活動を実施
- ひろしまフェアへの学校参加について小学校長会等で事業説明を実施
- 企業等の協賛に係る要綱等の制定に着手

4 広報宣伝の実施

ポスター及びグッズ等を作成し、P R 活動を実施

- ポスター及びチラシ
- ポケットティッシュ
- 花の種
- ビニール袋



チラシ



花の種

5 行催事の実施

- ・ 第37回全国都市緑化ひろしまフェア1年前イベント

日 時 : 平成31年3月21日(木・祝) 12:55～15:10

場 所 : 紙屋町シャレオ中央広場(広島市中区基町地下街100)



ひろしまフェアPRボード除幕式



広島市立基町高校による記念演奏



高校生花いけライブ開催状況



会場の様子

平成 3 0 年度収支決算について

【収 入】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引	主な内容
負担金	90,000,000	90,000,000	0	・ 主催者負担金
その他	0	9	▲9	・ 預金利息
合 計	90,000,000	90,000,009	▲9	

【支 出】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引	主な内容
総務費	2,840,000	2,653,880	186,120	・ 実行委員会事務局の運営経費
事業費	87,160,000	943,738	86,216,262	・ 会場整備、会場運営、観客誘致・広報宣伝、行催事等に係る実施計画の策定 ・ ポスター及びグッズ等の作成、PR 活動の実施 ・ 1 年前イベントの実施
合 計	90,000,000	3,597,618	86,402,382	差引合計の 86,402,382 円は全額翌年度に繰り越す。

※支出の決算額は 3 月末までに業務完了済みの金額としており、実施計画策定業務（契約期間：2 月 2 6 日～5 月 3 1 日）の契約額（58,644,000 円）は含んでいない。



第37回全国都市緑化ひろしまフェア実施計画（案）の概要



ひろしま
はなのわ
2020

2019年5月29日
第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会



※ 応援キャラクター「はなのわ応援隊」（主催 24 自治体にゆかりあるキャラクターで結成）

1 開催概要等

1-1 基本理念・基本方針

基本理念

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中から広島へ多くの人々が訪れる2020年、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出し、花や緑の大切さと平和の尊さを世界中の人々と分かち合い、より一層の豊かな地域づくりと世界恒久平和の実現につなげていくため、県内一円で全国都市緑化ひろしまフェアを開催します。

基本方針

- 広島を花と緑でつないでいくフェア
- 花や緑等の地域資源の活用
- 花や緑等を通じた回遊性の向上
- 広島を花と緑でつないでいくフェア
- 地域づくりの担い手の育成
- 平和と広島を花と緑でつないでいくフェア
- 国内外への魅力の発信
- 平和を象徴する花と緑の祭典

1-2 開催概要

名称

名称：第37回全国都市緑化ひろしまフェア
愛称：ひろしま はなのわ 2020

開催テーマ

ひろしまフェア開催テーマ
ひろしま はなのわ 2020
♪「花笑（はなえみ）」ひろしまから花と笑顔と平和の わ ♪
全国都市緑化フェア統一開催テーマ
『緑ゆたかなまちづくり』
窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう

主催者等

主催者	広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構
共催者	国土交通省中国地方整備局
提 唱	国土交通省
実行組織	第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

開催期間

2020年3月19日（木）～11月23日（月・祝）（250日間）

会 場

メイン会場	場所	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺（広島市）
	期間	3月19日（木）～5月24日（日）67日間 ※5月25日（月）～11月23日（月・祝）は、他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを開催
協賛会場	場所	国営備北丘陵公園（庄原市）、県立せら県民公園（世羅町） 県立びんご運動公園（尾道市）、県立みよし公園（三次市）
	期間	3月19日（木）～11月23日（月・祝）250日間
スポットイベント会場	場所	県内23市町のスポットイベント会場
	期間	2020年に開催する各スポットイベントの実施期間

目標来場者数

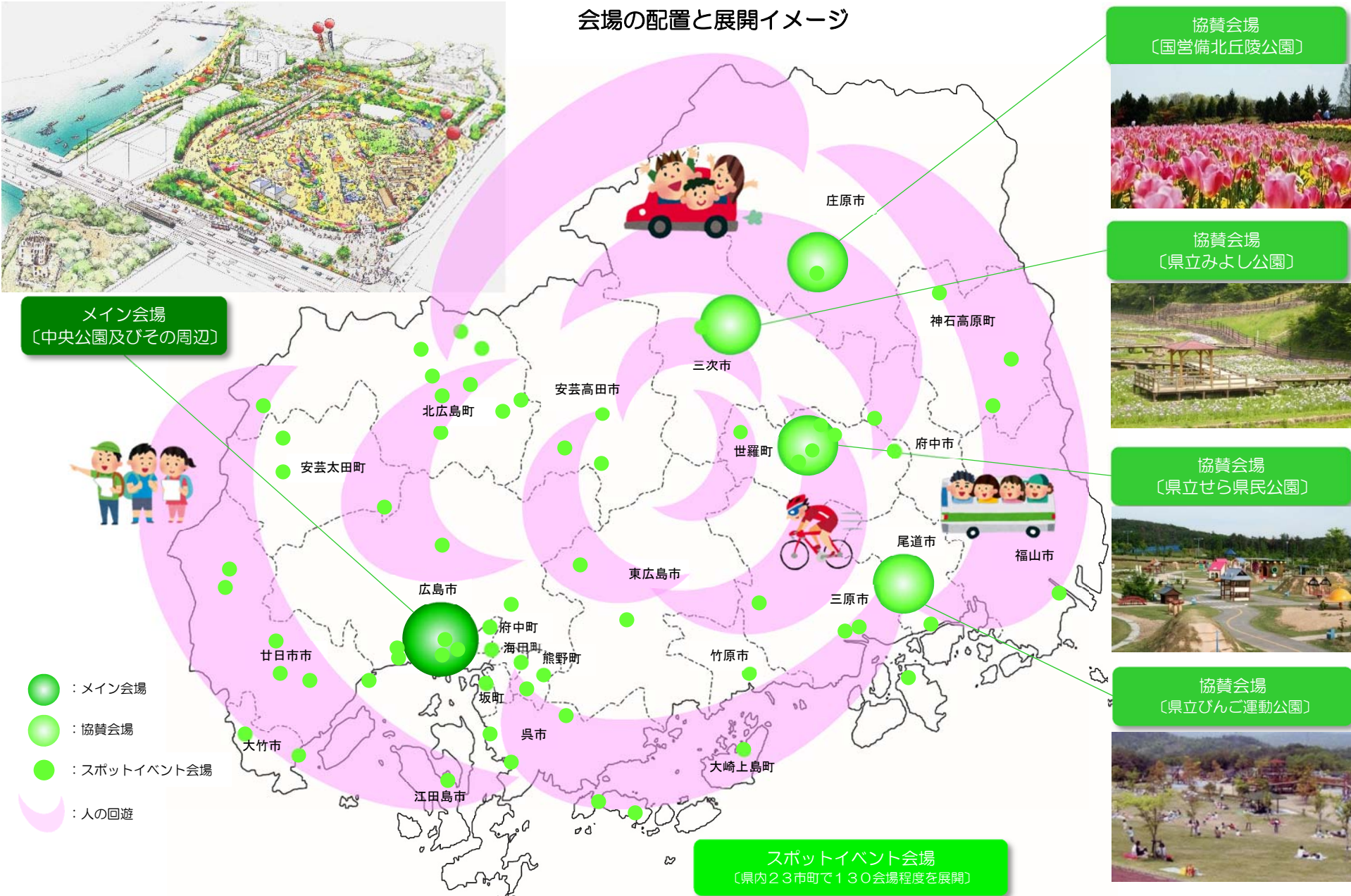
メイン会場：160万人
協賛会場・スポットイベント会場（対前年来場者増加数）：80万人

入場方式

メイン会場：無料（ただし、催事については有料のものを検討）
協賛会場・スポットイベント会場：現行と同様

事業費

概ね12億円（協賛会場・スポットイベント会場費除く。）



2-1 ゾーニング

【基本的な考え方】

- ・ひろしまフェアのメイン会場として、ひろしまフェアの象徴となる求心力ある景観演出を行うゾーン（ひろしま風景ゾーン）、フェアの賑わいの中心となり広島県及び 23 市町の魅力を発信し交流するゾーン（ウェルカムゾーン、イベント企画ゾーン）、被爆及び戦災 75 年を迎え花と緑豊かに復興した広島姿を発信するゾーン（希望と思い出ゾーン）など、広島ならではの花や緑の豊かさを五感で体感できる多彩なゾーンを展開します。
- ・明快な主動線で各ゾーンを結び、全てのコンテンツを楽しみやすい構成とします。

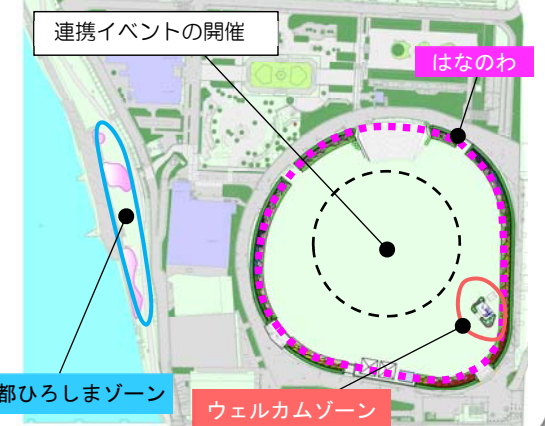
集中展開期間（3月19日～5月24日）



㊦ メイン会場ゾーニング㊦

連携イベントの展開期間(5月25日~11月23日)

はなのわとウェルカムゾーン・水の都ひろしまゾーンの一部を残し、旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントを連携イベントとして展開するとともに、スポーツイベント会場や地域の魅力を情報発信



【各ゾーンの展開方針等】

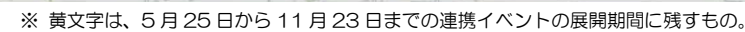
ゾーン等	展開方針	導入施設	整備イメージ
はなのわ	ひろしまフェアの象徴として、会場を包み、県民をつなぐ、県民参加の花と緑のわ	●はなのわフレーム ●はなのわガーデン ●ひろしまふるさと自慢	広島に勇氣と活力をもたらした旧広島市民球場の歴史を活かし、花の土手でメイン会場を包み込むとともに、立体的な演出で花があふれる景を演出
ひろしま風景ゾーン	ひろしまフェアの象徴として、広島海から山までの多彩な風景を花と緑により体感するゾーン	●ひろしま百景花壇 ●ひろしまお祭りガーデン（広島県内自治体共同花壇） ●ひろしまふるさと自慢	ランドアート※1、地域の物産、モザイクカルチャー※2 などを取り入れ、ダイナミックな景観構成と、県内 23 市町の魅力が素直に理解できるわかりやすい景観構成
ウェルカムゾーン	ひろしまフェアを知り、広島23市町の魅力に五感で触れ合い、交流するゾーン	●総合案内所 ●インフォメーション 23 ●イベント劇場 23	フェアの玄関口として、わかりやすい情報発信、地域の魅力を伝える情報発信ができるように、シンプルで明快な施設構成
イベント企画ゾーン	音楽を中心とした多彩なイベントや広島グルメ、各種体験教室・展示会などにより、広島の魅力やにぎわいを楽しみ交流するゾーン	●イベントステージ ●イベント芝生広場 ●広島グルメ ●花と緑のふれあい広場	ひろしまならではのグルメや物産、みんなでつくり上げるステージイベント、花と緑の体験教室など、多様な楽しみを享受できる空間構成
ひろしま海ゾーン	広島海をテーマとした遊びと憩いのゾーン	●こどもの海（うみの遊び）	散策の途中でゆったりと休んだり、遊べる憩いの空間構成
希望と思い出ゾーン	広島海をテーマとした遊びと憩いのゾーン	●にっぽんピースガーデン（県外自治体出展花壇） ●未来に向けた思い出年表	原爆ドームと平和の鐘を象徴と捉え、その軸線や存在を意識できる景観構成
森のガーデンゾーン	花や緑のある豊かなライフスタイルを五感で満喫するゾーン	●ひろしま未来ガーデン（企業団体等出展庭園） ●森のカフェ ●こどもの森（さとの遊び） ●ハノーバー庭園（既存）	森に囲まれた空間で、歩くたびに新しい発見がある、驚きと楽しみを感じる景観構成
水の都ひろしまゾーン	広島海をテーマとした遊びと憩いのゾーン	●水辺の花畑 ●水辺カフェ ●こどもの川（かわの遊び） ●被爆シダレヤナギ（既存）	ひろしまの川沿いの空間の雄大さ、豊かさを感ぜられる景観構成

注：下線部は、5月25日から11月23日までの連携イベントの展開期間に残すもの。

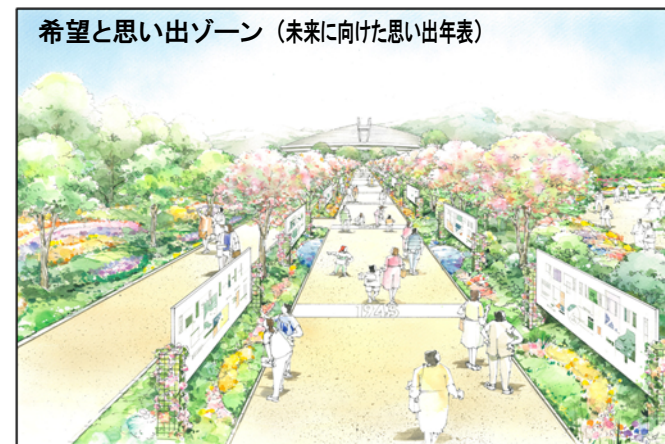
※1 ランドアート : 土、岩、樹木などの自然の素材を用いて大地に直接構築される造詣作品

※2 モザイカルチャー：人、動物、風景などの像（金属フレーム）の表層に花を植えた色彩豊かな立体造形。
「モザイク」と「カルチャー」を組み合わせた造語。

2-2 会場全体計画



水の都ひろしまゾーン（水辺の花畑・水辺カフェ）



エリア	項目	2019年					2020年											
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はなわのウェルカムゾーン	整備	《ひろしまフェア開催期間》												撤去				
	維持管理・撤去																	
ひろしま風景ゾーン イベント企画ゾーン 希望と思い出ゾーン ひろしま海ゾーン	整備													撤去				
	維持管理・撤去																	
森のガーデンゾーン	整備													撤去				
	維持管理・撤去																	
水の都ひろしまゾーン	整備													撤去				
	維持管理・撤去																	

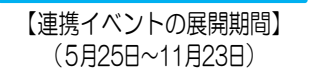
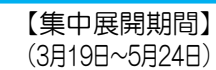
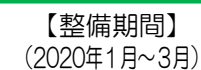
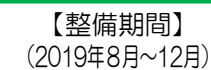


写真 はなのわフレーム・はなのわガーデンのイメージ

3 協賛会場計画

基本的な考え方

- 物的・人的な既存ストックを活かしながら様々な協賛イベントを開催し、花や緑のある豊かなライフスタイルなどを実感するとともに、各公園の特性に応じた多様な公園利用者に、各地域のスポットイベント会場の情報発信を行い、回遊を促進する会場とします。
- 様々な主体が楽しみながら参加できる仕組みを取り入れるとともに、地域との連携をさらに高めることで、豊かな地域づくりの担い手の育成と圏域の地域づくりに資する公園づくりへとつなげていきます。

国営備北丘陵公園

- 春～晩秋までのひろしまフェア開催期間にわたる花修景や各種県民出展、花や緑の文化を楽しむ体験、中国地方のふるさとの体験等を楽しめる既存イベントを協賛イベントに位置付け、花や緑のあるライフスタイルの豊かさを実感できる会場とします。
- 中国地方全域から利用のある国営公園として、ひろしまフェアの広域的な情報発信を行います。



花の広場（備北花ピクニック・備北コスモスピクニック）



スイセンガーデン（備北花ピクニック）



ひばの里（備北夏まつり）

表 既存イベント展開例

イベント	開催時期	概要
備北花ピクニック	3月中旬～5月中旬	スイセンガーデンや花の広場（チューリップ等）を中心に春の花を觀賞し、花と緑、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開
備北夏まつり	7月下旬～8月下旬	みのりの里等での夏の花修景（ひまわり等）の演出とともに、夏休みの遊び体験（カブトムシ、水遊びさとやま夏遊び）や食に関する各種イベントを展開
備北コスモスピクニック	9月中旬～10月中旬	花の広場（コスモス等）を中心に秋の花を觀賞し、庄原市と連携した「庄原ガーデンショー」等の花と緑、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開
ウインターイルミネーション	11月下旬～12月下旬	奥行きのある里山の地形、庄屋屋敷や農家、池や樹林地等のふるさとの景観を活かし、特徴的なイルミネーションと、遊び、食、体験、歴史文化・伝統芸能に関する各種イベントを展開

県立せら県民公園

- 公園の設置目的「県民の安らぎ交流拠点の創出、地域交流や自然とのふれあいを通じて心身を癒しリフレッシュできる場の創出」を踏まえ、「花と自然とのふれあい」をテーマに、観光交流を拡大できる展開を図ります。
- 具体的には、以下の内容に取り組みます。

表 取組概要

項目	内容
修景	・希少な蝶（ヒョウモンモドキ）の食草や吸蜜植物となる在来の花（キセルアザミ、ノアザミ）の増殖による生息環境づくり（県民参加） ・ミニチュアガーデンでの観光農園との連携による観光交流の拡大の検討 ・遊びの要素の充実化
イベント等取組	・地域施設との連携による地域周遊の魅力の向上（ワイナリー利用者へ自然観察園の希少な野花（サギソウ群生等）のガイド等の楽しみの提供）



①県民参加によるヒョウモンモドキの生息環境づくり



②ミニチュアガーデンでの観光農園との連携による観光交流の拡大の検討

展開方針

- 各協賛会場に「情報発信コーナー」などを設置し、周辺のスポットイベント会場を中心に、メイン会場・協賛会場のイベント情報やアクセス情報を提供して、各会場を連携します。
- スタンブラリーの実施や公共交通の周遊パスの利用促進など、各会場への回遊を促す仕組みづくりに取り組みます。
- 県民参加による花修景等を行うとともに、花や緑の専門家と地域の花緑関係者を交えた「都市緑化シンポジウム」を開催するなど、緑化意識の高揚や花・緑を活用した地域づくりの展開を図ります。

県立びんご運動公園

- 公園の設置目的「備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興」を踏まえ、地域との連携を高めながら、「花とレクリエーション」をテーマに、花や緑に包まれて遊ぶ豊かさを感じられる展開を図ります。
- 具体的には、以下の内容に取り組みます。

表 取組概要

項目	内容
修景	・冒険の森や多目的広場を花で修景し（県民参加で植え付け）、花に包まれて遊びやウォーキング等が楽しめる演出強化 ・花畑を使ったレクリエーションの提供（花畑迷路などの検討）
イベント等取組	・冒険の森での花や緑を活かした遊びの提供（県内団体等との連携） ・広場でのピクニックの魅力を高めるサービスの検討



①冒険の森での花や緑を活かした遊びの提供（県内団体との連携）



②冒険の森や多目的広場を県民参加で花修景、花畑を使ったレクリエーションの提供

県立みよし公園

- 公園の設置目的「備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興」を踏まえ、「花と文化」をテーマに、花を楽しむ公園文化の豊かさを感じられる展開を図ります。
- 具体的には、以下の内容に取り組みます。

表 取組概要

項目	内容
修景	・しょうぶ園の記念撮影の場にもなるフォトスポットの演出強化 ・芝生広場を花（県民参加で植え付け）で包み、ピクニックや広場遊びの魅力向上 ・花によるウェルカム演出の向上
イベント等取組	・しょうぶ園を楽しむアクティビティの充実化 ・芝生広場でのピクニックの魅力を高めるサービスの検討



①しょうぶ園の演出強化とアクティビティの充実化



②県民参加による芝生広場の花修景とピクニックや広場遊びの魅力向上

4 スポットイベント会場計画

【基本的な考え方】

- 既存イベントを花や緑等でブラッシュアップし、地域の花や緑、伝統文化等の魅力を実感できる会場とします。
- 花や緑をつなぎ手として、地域住民と来訪者との交流、地域住民と他のスポットイベント会場の地域住民との交流など、新たな交流を生み出す会場とします。
- 地域の企業や団体、学校、県民など、地域が主体となって、花と緑等によるにぎわい、地域の豊かなライフスタイルを創造する会場とし、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。



広島市



呉市



竹原市



三原市



尾道市



福山市



府中市



三次市



庄原市



大竹市



東広島市



廿日市市



安芸高田市



江田島市



府中町



海田町



熊野町



坂町



安芸太田町



北広島市



大崎上島町



世羅町



神石高原町

写真 スポットイベント会場の展開例



【スポットイベントのブラッシュアップ】

- 既存イベントの場合、「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」を実施することにより、既存イベントの魅力向上を図り、地域づくりにつながる取組とします。
- 新規イベントの場合、花や緑等をキーワードとして地域づくりにつながる取組を実施します。

表 スポットイベントのブラッシュアップ例

種別	ブラッシュアップ例
花や庭園が主役のイベント	・花を活用した体験メニューの充実化（見るだけでなく、花を五感で楽しむ） ・ガイドの実施（花のガイドや庭園ガイド等、花と地域との関係性を伝え、花を通じて地域への共感を呼ぶ） 等
自然・農に親しむイベント	・その地域ならではの自然体験プログラムの充実化 ・収穫だけでなく、食べる体験を含めた充実化 ・自然体験や農体験に合わせた地域の魅力の発信（ご当地マルシェ等との共催による特産品や人との出会いの創出） 等
伝統文化にふれあうイベント	・伝統文化（筆、酒、竹、花田植え、神楽等）と花や緑とのコラボレーション ・様々な筆で「花」を描く体験、竹筒の一輪挿しや生け花による歴史的町並みの演出、生花で飾る花田植え、花や紅葉を題材とした神楽 等
健康・スポーツイベント	・花や緑を通じて地域の魅力が感じられるウォーキングイベントの最適時期やコース設定 ・ウォーキングイベント等の休憩ポイント等で、地域ならではの花や緑を五感で楽しめる体験メニューや食の提供 ・参加賞や表彰での地域ならではの花苗や冠の提供 等
ミュージアムイベント	・花や緑をテーマとした企画展示の展開 ・動物と生息地の気候帯の植物との関係性の企画展示、戦災復興や平和と「花」との関係性をテーマとした企画展示、花や庭園の絵画コレクションの企画展示 ・花の写生大会、花や自然を描く絵画教室、クラフト教室 ・花や庭園の書籍や絶版本コレクションの企画展示 等
その他のイベント	・祭りのコンセプトや地域性を表現できる花をみんなで考え、その花で祭りを演出（外国人にも共感を呼べるような、地域や祭りとの物語性のある花をセレクト） ・花とステージショー、花と映画祭、花と音楽、花とパレード、花と港、花と花火、花と追悼・鎮魂、花とワイン、花とだるま、花と踊り、花と城跡 等

【スポットイベントへの支援策】

- スポットイベントの「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」の実現や全県的な連携推進に向けて、スポットイベント主催者への説明会や勉強会、様々な地域団体や人材との連携を支援する交流会（はなのわ会議）等を開催します。
- スポットイベントの取組成果を共有しフェア開催後につなげる交流会（はなのわ収穫祭）を開催します。
- スポットイベントの「花や緑等をキーワードとした新たな工夫」の実施に直接的に必要な経費への補助を検討します。

5 行催事計画

【基本的な考え方】

- ・緑化意識の高揚を図る行催事を展開します。
- ・ひろしまフェアの認知向上と来場促進を行います。
- ・地域づくりの担い手の育成と平和のメッセージを発信します。
- ・メイン・協賛・スポットイベント会場の連携を図ります。

【行催事区分・展開概要】（メイン会場）

区分	行催事内容
公式行事	・内覧会 ・開会式（オープニングセレモニー） ・節目セレモニー ・閉会式 ・全国都市緑化祭
主催者催事 （プレイベント）	・1年前イベント（平成31年3月21日開催） ・100日前イベント
主催者催事 （シンポジウム）	・都市緑化シンポジウム
集客イベント	・ステージ催事 ・メディアタイアップ催事
交流イベント	・市町の日 ・はなのわガイドツアー ・花と緑のワークショップ・展示会 ・フィールド催事 ・復興催事
連携イベント	（民間企画イベントの開催）



6 協働推進計画

【基本的な考え方】

- ・県民との協働によりフェア開催後にもつながる花と緑の取組を推進します。
- ・フェアへの参加を通じて、緑化や地域づくりの楽しさを感じることができる取組とします。
- ・フェアに参加する様々な主体のつながりを育み、地域資源の魅力の向上や地域づくりの担い手育成に取り組めます。

【各会場での協働事業（ボランティア）の内容】

会場	協働事業内容
メイン会場	・会場づくりへの参加（花の育成、花の植え付け、花壇のデザイン等） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師、運営補助等） ・運営参加（植物管理、会場サービス等）
協賛会場	・会場づくりへの参加（花の植え付け） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師） ・運営参加（各会場の取組に応じたボランティア参加）
スポットイベント 会場	・会場づくりへの参加（花の植え付け） ・行催事への参加（花や緑の体験催事等の講師、運営補助等） ・運営参加（各会場の取組に応じたボランティア参加）

7 会場運営計画

7-1 会場運営

【基本的な考え方】

- ・「安全」「安心」「快適」を実現する会場運営を実施します。
- ・県民参加（ボランティア）を促す会場運営を実施します。
- ・情報の集約と発信の一元化による県内全体での一体的な会場運営を実施します。

【開催時間】（メイン会場）

- ① 10:00～17:00 3月19日（木）～ 3月31日（火）
- ② 10:00～18:30 4月 1日（水）～ 5月24日（日）

【運営体制】（メイン会場）

（運営本部） 会場運営	会場サービス	案内・情報提供・物品のレンタル等、快適な会場づくりを行う業務
	会場管理	警備・清掃・医療・救護・防災等の安全・安心な会場の保持を行う業務
	ボランティア	案内サービス、催事運営補助、植物ガイドツアー・植物維持管理
	営業参加	飲食、物販（花き、特産品販売）

7-2 交通輸送

【基本的な考え方】

- ・来場者に安全で快適な交通アクセスを提供し、的確な輸送が可能となる手段を講じます。
- ・メイン会場・協賛会場・スポットイベント会場間のアクセス方法を各会場で案内するなど、会場間を連携するとともに、公共交通の周遊バスの利用促進などによる回遊性向上に努めます。

【基本施策】（メイン会場）

- ・制約要件を勘案しながら、来場者の交通手段を確保し、円滑な交通輸送や交通誘導を実施
- ・周辺電停等からの徒歩来場に備えて、警備配置による横断歩道安全管理など、歩行者安全対策を実施
- ・会場駐車場は障がい者や団体バスなどに限定するとともに、駐輪場やタクシー乗降場を設置
- ・徒歩や公共交通機関利用での来場を促進する告知を充実

8 観客誘致・広報宣伝計画

【各計画の考え方・方策】

計画	基本的な考え方	主な方策
観客誘致	花や緑に関心の高い県民はもとより、幅広い県民と県外（インバウンド含む。）からの観光客の来場促進を図ると同時に、県内全域で回遊と交流を生み出します。	・広報宣伝による方策（フラワーアンバサダー等） ・行催事による方策（市町の日開催等） ・多様な主体との連携による誘致（スタンプラリーの実施や旅行・交通事業者との連携等）
広報宣伝	広告・パブリシティ・PRイベントの手法を効果的に活用し情報の最大化を図るとともに、集客エリア・重点ターゲットを基に広域への情報発信を実現する効率的な広報宣伝を行います。	・集客エリア 1次・2次・3次集客エリアを設定 ・重点ターゲット 「ファミリー層」「女性層（20～40歳台）」「シニア層（男女50歳以上）」
参加協賛	ホームページ掲出等により広く協賛を募るとともに、ひろしまフェアのPRも兼ね、県内の企業・団体を対象に訪問説明を行います。	・協賛形態 「協賛金」「物品、資材・施設等」「催事・出展」「広報宣伝」「役務」 ・協賛企業等への対応 社名の掲出、画像素材等の使用、感謝状の贈呈、式典への招待等

令和元年度事業計画の専決処分の報告及び承認について

1 会議の開催

- ・ 総会を開催する。

2 メイン会場

- ・ 開催に向けたメイン会場内の園路舗装、仮設建築物の設置、花壇、修景施設等の整備及び植物調達を実施する。

3 協賛会場及びスポットイベント会場

- ・ 協賛会場及びスポットイベント会場の開催時間、内容について調整等を行う。

4 展示、出展

- ・ 企業、団体等への出展勧奨、募集や説明会等の各種調整、参加型花壇等の設置、出展プレート等の製作、コンテストに関する審査要項の策定及び審査員との調整等を行う。

5 行催事

- ・ プレイメントを実施するとともに、催事の計画、調整、出演団体、出展者及び連携イベントの勧奨、募集等を行う。
- ・ 公式行事として開会式等を実施する。

6 協働推進

- ・ 参加体験によるフェア会場の花壇づくりや会場づくりのほか、連携推進、人材育成講座の開催等を行う。

7 会場運営

- ・ メイン会場の運営に係る各種規定の策定、運営マニュアルの作成、ボランティアの募集及び営業参加募集等を実施する。
- ・ メイン会場の警備や清掃、案内所等の運営管理、誘導案内及び交通対策等を実施する。

8 観客誘致、広報宣伝

- ・ 県内外でのキャンペーン活動、広報ツールの制作、配布、メディア等を活用した観客誘致、広報宣伝及び参加協賛を実施する。

令和元年度予算の専決処分の報告及び承認について

収支予算

収入金額 816,726 千円

支出金額 816,726 千円

差 引 0 千円

【収 入】

(単位：千円)

項 目	金 額	主な内容
負担金	729,837	・ 主催者負担金 ・ 協賛金
繰越金	86,888	
その他	1	・ 利息収入
合 計	816,726	

【支 出】

(単位：千円)

項 目	金 額	主な内容
総務費	25,773	・ 実行委員会、事務局の運営経費
事業費	790,953	・ メイン会場整備の実施 ・ 協賛会場及びスポットイベント会場との調整 ・ 企業、団体等への出展勧奨等、展示及び出展に係る各種調整 ・ プレイメントの実施 ・ 催事の計画、調整や開会式等の実施 ・ 参加体験による会場作り ・ 連携推進、人材育成講座の開催 ・ 会場運営に係る業務委託 ・ メイン会場の運営管理及び交通対策 ・ 県内外でのキャンペーン活動等の観客誘致
合 計	816,726	

【債務負担行為】

(単位：千円)

項 目	限 度 額	期 間
総務費	5,000	令和 2 年度
事業費	159,246	令和 2 年度
合計額	164,246	